



会社概要

会社名 千住スプリンクラー株式会社
代表者 代表取締役社長 上野 昌章
創立 昭和49年(1974年)4月
資本金 30,000,000円
事業内容 消火装置用スプリンクラーヘッド、アラームバルブ、一斉開放弁等の
製造販売、高圧ガス容器用可溶栓の製造販売

拠点 本社

〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町23番地
TEL: 03 (3870) 5011 FAX: 03 (3881) 3199

丸森工場
〒029-0302 岩手県一関市東山町長坂字丸森86-1
TEL: 0191 (47) 3388 FAX: 0191 (47) 3881

柴宿工場
〒029-0302 岩手県一関市東山町長坂字柴宿88-2
TEL: 0191 (47) 3389 FAX: 0191 (47) 3662

大阪営業所
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4丁目1-45
新大阪八千代ビル 3階
TEL: 06(7634)8448 FAX: 0648678251

従業員数 150名

関連会社 Senju Fire Protection Corp.
天津千住消防器材有限公司

認証取得 ISO 9001 / ISO 14001(本社・丸森工場・柴宿工場)



本社(東京)



管理棟(丸森工場)



工場(丸森工場)



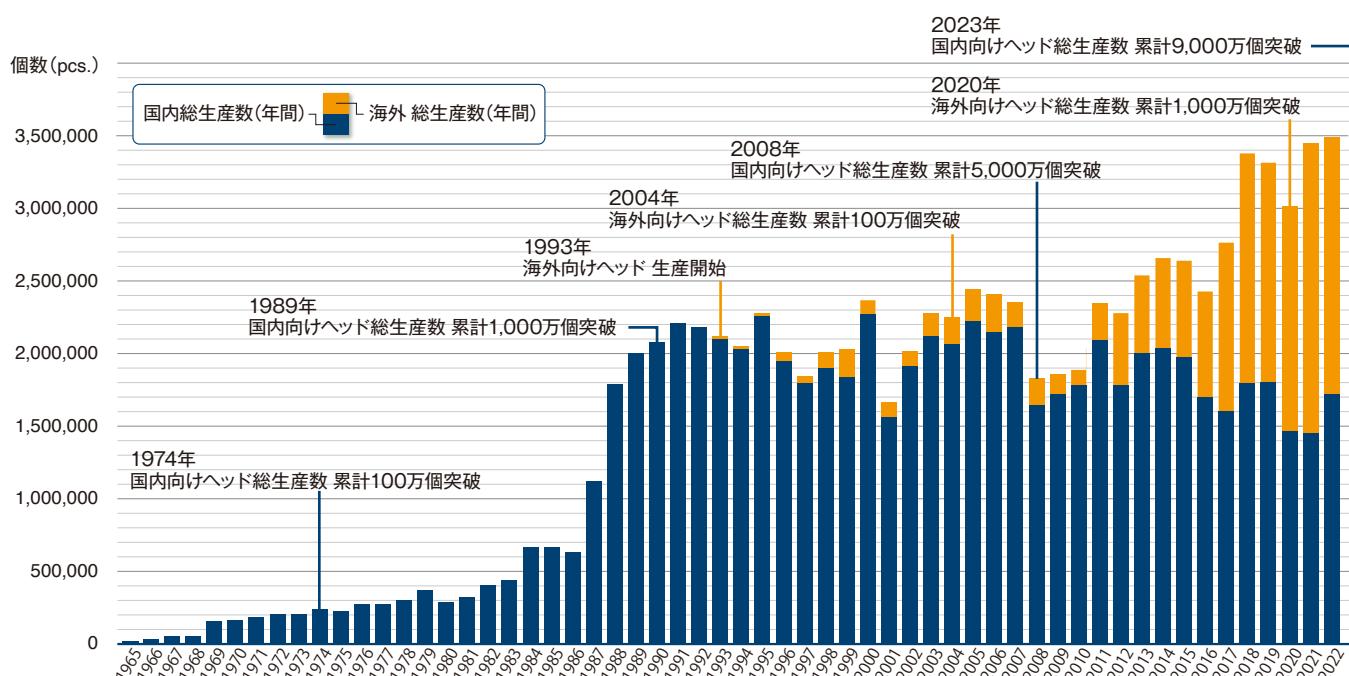
工場(柴宿工場)

日本のトップシェアメーカーとして、 優れた性能と高い品質の製品を提供し続けます。

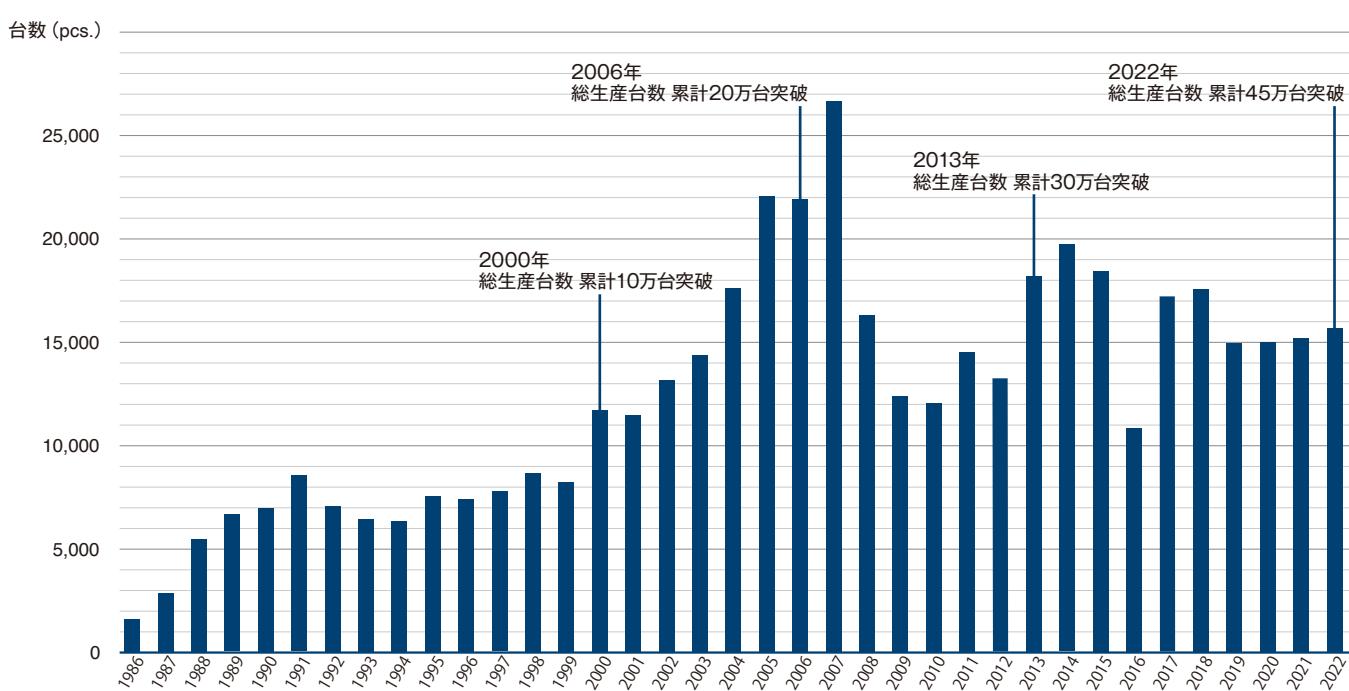
当社の製品は、スプリンクラーヘッドは約7割・流水検知装置は約5割のシェアを占めます。

優れた機能・デザイン・ゆるぎない信頼性は、先進のテクノロジーとして非常に高い評価を頂いております。

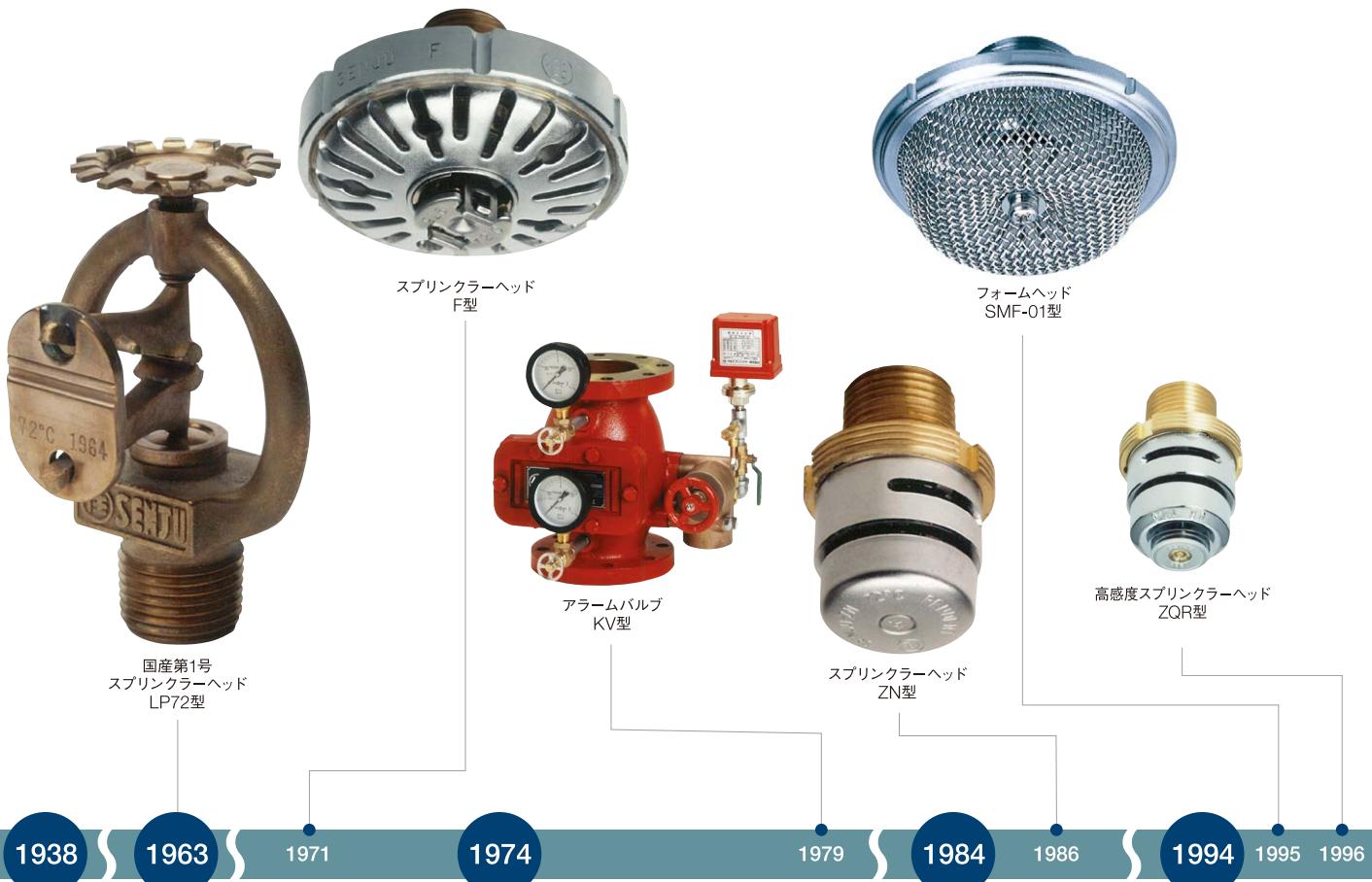
■閉鎖型スプリンクラーヘッド国内・海外総生産個数(千住スプリンクラー製)



■流水検知装置(アラーム弁)国内総生産台数(千住スプリンクラー製)



1963年、国産型式承認第一号の消火用スプリンクラーヘッドの開発に成功して以来、千住スプリンクラーの軌跡は、日本のスプリンクラー発展の歴史となりました。



1938 株式会社千住鉛工場創立

糸はんだ・棒はんだ・松ヤニ入りはんだ
水道鉛管を製造

1944 千住金属工業株式会社と社名改称

1963 消火装置用スプリンクラーヘッドの国産化に成功
消防研究所より型式承認を取得。型式番号第1号

1965 自治大臣より消防法第21条の規定に基づく閉鎖型
スプリンクラーヘッド国産第1号型式承認を取得
型式番号「ス第40～1号」

感熱部圧縮型スプリンクラーヘッドG型の開発に
成功、型式承認を取得

1966 スプリンクラー部門新設

1967 アラーム弁製造・発売開始

1968 日本初の超高層ビルである霞ヶ関ビル完成
スプリンクラーヘッドG型納入

1971 スプリンクラーヘッドF型・型式承認を取得

スプリンクラーヘッド輸出開始

1973 スプリンクラーヘッドUL(米国)の型式承認を取得

1974 スプリンクラーヘッドZ型・型式承認を取得

スプリンクラー製造部門、
千住スプリンクラー株式会社として独立

スプリンクラーヘッド生産100万個突破

1975 ヘッドL.P.C(英国)の型式承認を取得

1976 閉鎖型スプリンクラーヘッドの消防法改正による
新規格に第1号の型式承認を取得

1977 池袋サンシャイン60ビルに

スプリンクラーヘッドMF型納入

1979 アラーム弁KV型・型式承認を取得

1984 千住スプリンクラー10周年

一斉開放弁DV型・型式承認を取得

1986 スプリンクラーヘッドZN型・型式承認を取得

千住金属工業株式会社のスプリンクラー部
(販売部門)を吸収合併して、生産、販売の
一貫会社となる。

1987 乾式アラーム弁DHV型・型式承認を取得

1988 予作動式アラーム弁SPV型・型式承認を取得

1989 スプリンクラーヘッド生産1,000万個突破

東京都新庁舎にスプリンクラーヘッドZN型納入

1990 岩手工場(丸森)を新設、主力工場として
最新鋭自動化ライン稼働開始

1992 消火実験棟完成(岩手丸森)

1993 スプリンクラーヘッドZN型、UL(米国)の承認を取得

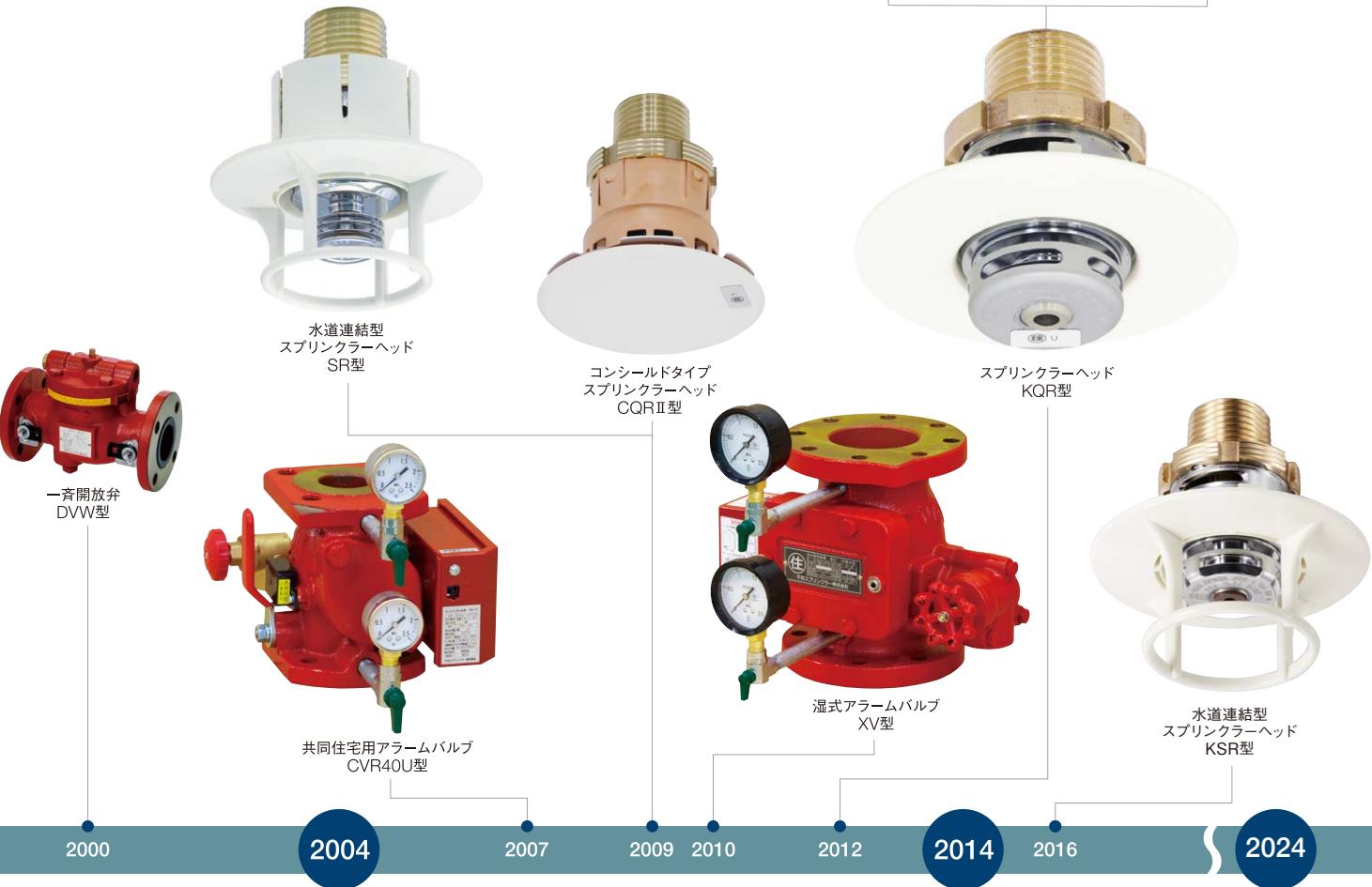
スプリンクラーヘッドZN型、カナダULの承認を取得

スプリンクラーヘッドZN型、FM(米国)の承認を取得

1994 千住スプリンクラー20周年

耐衝撃型ヘッドKシリーズ

- ・高い剛性と確実な基本性能
- ・フラットなデザイン
- ・はんだとOリングレスによる
ゆるぎない信頼性



1995 アラーム弁NKV型・型式承認を取得
フォームヘッドSMF-01型・性能評定を取得

1996 法令改正対応高感度型ZQR型、
小区画型ZQS型・型式承認を取得
ISO 9002認証取得
ISO 9001認証取得

1998 側壁型フォームヘッドSHF-20型・性能評定を取得

1999 ラック式倉庫用スプリンクラーヘッドEUQR型、
EPQR型・型式承認を取得
スプリンクラーヘッドZEC-16型(r2.8)
型式承認を取得

2001 六本木ヒルズ、森タワーにスプリンクラーヘッド
ZQR II型納入

2004 千住スプリンクラー30周年

2006 空気制御方式一斉開放弁UDV型・型式承認を取得
エコススプリンクラーeZQ型・型式承認を取得

2007 ISO 14001認証取得
2008 スプリンクラーヘッドVシリーズ・型式承認を取得
2009 コンシールドタイプスプリンクラーヘッドCQR型、
型式承認を取得
水道連結型ヘッドSR型・型式承認を取得
スプリンクラーヘッドCN-QR,CN-RES,UL(米国)
の型式承認を取得

2010 ヘッド生産5000万個突破
ステムトリガー方式湿式アラーム弁XV型・
型式承認を取得

2011 東京スカイツリーにスプリンクラーヘッドVQR型、
アラーム弁XV型納入

2012 JPタワーにスプリンクラーヘッドCQR型納入
耐外力向上ヘッドKシリーズ・型式承認を取得

2013 耐外力向上ヘッドKQR型がグッドデザイン賞を受賞

2014 千住スプリンクラー40周年
2015 感熱開放継手NKT II型 型式取得
2016 水道連結型スプリンクラーヘッドKSR型・型式承認を取得
2017 感熱開放継手NKT III型・特定機器評価を取得
2019 流水検知装置LV型・型式承認を取得
2022 閉鎖型スプリンクラーヘッドNFQR型・型式承認を取得
2023 ヘッド生産9000万個突破
2024 千住スプリンクラー50周年

妥協しないものづくりから生まれる独自の技術

高い品質の製品を生み出すために、千住スプリンクラーには独自の開発設計部門、製造部門、品質保証部門があり、厳しい試験・検査システムのもとにものづくりが行われています。

またそこから生まれたアイディアや独自の技術により、新しい製品が開発されています。

■品質保証

さまざまな製品・人工合成材料の中で生活をおくる現代の火災事故は複雑なものになり、燃えるもの・燃え方は標準的定型見本がありません。未体験の火災が発生するたびに、新しい消火システムが考案されてきました。状況に応じて機械的な消火アクションを起こし、被害を出来る限り抑える安全で先見的な技術の追求をしています。



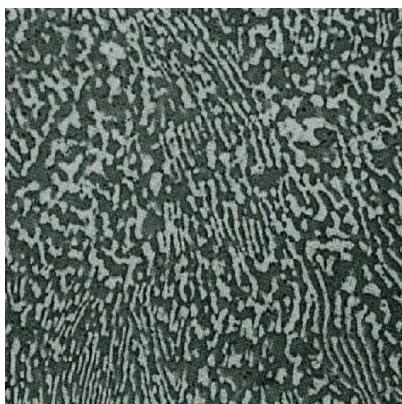
電子顕微鏡による材質検査



クリップファイヤーテスト

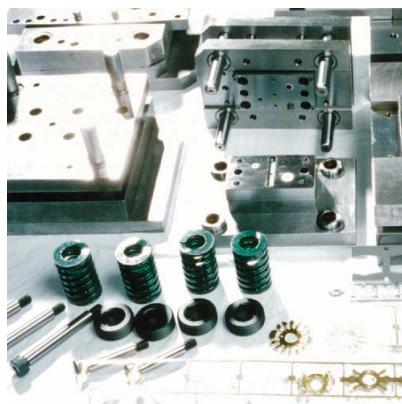
■ジョイントテクノロジー

精密な機械的構造を持ちながら高い信頼性の製品を支える本質的な技術要素は、接合・溶着・圧着・接着・ネジ組立など、「ジョイント・つなぎの技」にあります。千住スプリンクラーは、この重要な「つなぎ」の技術を研究開発型の企業資質を大切にしながら、独自のジョイントテクノロジーとしてさらに進化させていきます。



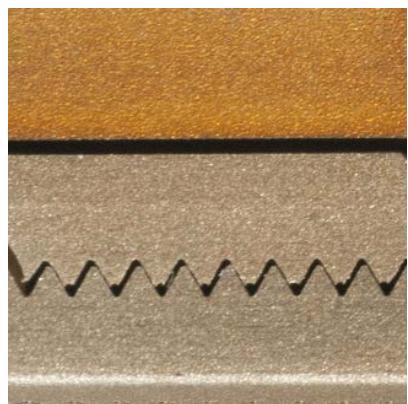
低融点特殊はんだ合金

火災をキャッチする感熱体には、一定の温度で正確に溶融するはんだ合金が組込まれています。熱センサー性能を制御する心臓部にあたる最も重要なエレメントです。負荷をかけたままで経時変化を起こさない厳しい規格が採用されています。



嵌合・圧着ジョイント

ミクロンレベルの高精度で、金属パーツが、くぼみや軸にはめ合わされる機械的接合方式。圧力を加えて金属部材同士を接合するものが圧着です。精密プレス金型・治具・装置類は、社内で設計・技術開発しております。



精密ネジ型ジョイント

ヘッド本体とフレームの取付接合部や、分解作動コアユニットの組立に使用しているのはネジによるジョイント機構。締付けのトルクを加減することで密着度を高め、均一で安定した組立を行うことが可能です。強度と信頼性の高いジョイント方式です。

自動化による信頼性の高いものづくり

スプリンクラーヘッドは、万一、火災が発生すれば、即応して確実に作動しなければなりません。また、その時まで漏水や誤作動は絶対に許されないという、きわめて重い製品責任を負っているため、厳重な品質管理とクリーンルーム並みの環境のもと、高度に自動化された設備で製造されます。その優れた生産能力で、お客様のもとへ安定して供給されます。

材料 > 加工 > 組立 > 検査 > 梱包 > 出荷



世界の厳正な規準で認められた安心の品質

日本はもとより、米国・カナダ・中国・英国などの消防規格をクリアし、型式承認、ISO9001,14001を取得した当社工場で製造した製品が、世界中の設置環境に適したスプリンクラーシステムを展開しています。

世界の規格・認証機関



日本消防検定協会 検定
消防機器のうち、主要な品目について国家検定が義務づけられており、この検定に合格し、マークを製品に表示しなければ販売・使用ができません。



一般財団法人・日本消防設備安全センター
検定制度とは異なった面から、消防用設備・機器の品質管理を目的として厳しい試験を行い、パスした製品に信頼のマーク [認定証票] を与えています。



UL 規格 登録
人体・財産に影響を与えるような危険に関連している製品の試験を行う、非営利機関アンダーライダーズ・ラボラトリー社の安全試験スタンダードです。



FM 規格 登録
機器や素材の安全性能に関する評価試験及び、生産工程・品質管理について厳しい審査・承認を行っているアメリカの民間認定研究機関：Factory Mutualです。



公益社団法人 日本水道協会
製品が厚生労働省令に定める基準等に適合しているかどうかについて、客観的立場から評価する機関です。メーカーから申請のあった製品を評価し、基準に適合している製品を認証登録します。



ULC 規格 登録
ULと同様にシステムを有するカナダの非営利機関で、機器の信頼性および安全性に関するテスト・評価・承認を行っています。

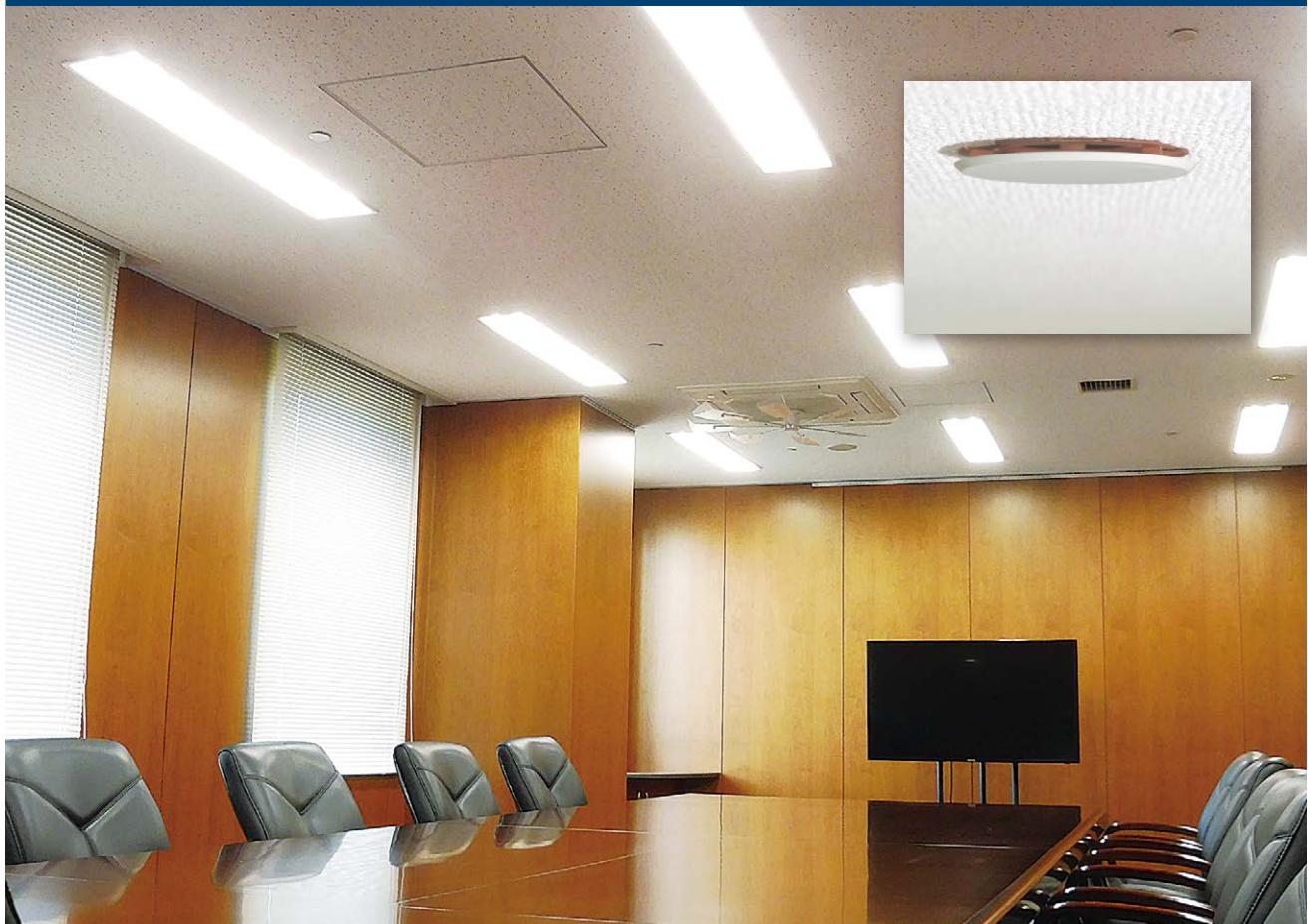


LPCB/CE 認証・マーク
Loss Prevention Certification Board セキュリティーや防火設備業界で世界的に認知されている先導的な認証機関。EU製品安全規格 CEマークとともに、認証を受けた企業・製品・サービスが規準を満たしている証明となります。



コンシールドタイプ スプリンクラー CQRⅡ型

Smart & Safety スマートでシンプルなデザインが空間のイメージを崩しません



千住スプリンクラー株式会社
SENJU SPRINKLER CO.,LTD.

本 社

〒120-0038
東京都足立区千住橋戸町 23 番地
TEL 03(3870)5011(代表)
FAX 03(3881)3199
URL <https://www.senjusp.jp/>
E-mail eigyou@senjusp.com

大阪営業所

〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原4丁目1-45
新大阪八千代ビル3階
TEL 06(7634)8448
FAX 06(4867)3251

※ カタログの掲載商品・写真は改良等のため、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

営業 - 054(25-10)200R